

平成 28 年度 4 月 1 日以降の「建物附属設備」「構築物」につきまして以下に 3 種類の方法をご紹介します。

いずれの方法も一長一短ございますが、ご対応をお願いいたします。

・ A 法：新規資産登録時の入力で対応 （ページ 2）

「科目情報」償却方法“定率法”の科目をそのまま使います。
個別入力画面で、償却方法“定額法”と直接入力していただく方法です。

長所：「科目情報」で同種の科目を複数作らずに済みます。

短所：資産入力時に手動で“定額法”と設定しなければなりません。
設定忘れが生じる可能性がございます。

・ B 法：基本情報の設定で対応 （ページ 3）

「科目情報」で、償却方法“定額法”として 別科目を新しく作成していただく方法です。新規資産で“定額法”を使用するものは、この科目で登録します。

長所：新規資産登録時、償却方法が自動的に“定額法”となります。

短所：「科目情報」で同種の科目を新規作成するため、「総括表」などの印字では科目の集計上、別科目の扱いで表示されます。金額集計に手間が生じる可能性がございます。

・ C 法：資産入力での対応＋基本情報の設定で対応（ページ 4～）

「科目情報」償却方法“定率法”の科目をそのまま使います。
2つの操作を順におこないます。

1. “定率法”科目で登録済みの資産について、償却方法を個別入力画面で固定する
2. 「科目情報」の償却方法を“定額法”へ変える

長所：もとの科目をそのまま使いながら、登録済み資産は“定率法”
新規登録資産は“定額法”として登録することができます。

短所：登録済み資産が多数の場合、操作に手間が生じます。

※ご対応方法※

・A法：新規資産登録時の入力で対応

具体的方法

1. 個別入力画面を開いて下さい
2. 個別入力画面の右側、「償却限度額（青いみだし）」の項目
“償却方法”の“入力チェックボックス”にチェックを入れて下さい
3. 償却方法がプルダウンできるようになりますので、
“定額法”とお選びください。
（“入力”にはチェックを入れたままにしてください）

資産 No.	- 0	事業所	0
資産名称	28年4月1日以降	部門	0

基本入力	償却・減少処理	圧縮記帳	減損等処理	月次償却	別表十六	償却資産税
取得価額				償却限度額		
取得年月日	平 28 . 4 . 20	償却方法	<input checked="" type="checkbox"/> 入力	200%定率	縮特例の適用 <input type="checkbox"/>	
事業供用年月日	平 28 . 4 . 20	耐用年数		200%定率		
増加事由	数量 0	償却月数		定額法		
取得価額	150,000	償却率		リース		
帳簿価額				定率法償却率	0.400	額 60,000
	期首	期末	保証率	0.10800	額	18,200
取得価額	0	150,000	普通	償却限度額		45,000
圧縮額	0	0	償却	増加償却	0.4	0
会計上取得価額	0	150,000	特別	償却区分		<input type="checkbox"/> 剰余金処分
帳簿価額	0	105,000	償却	償却限度額	0%	0
繰越償却超過額	0	0	償却実施額			
繰越償却不足額	0	0	当期償却実施額	100%		45,000
			経費区分	販管費		
			当期償却超過額			0
			当期損金認容額			0

・ B 法：基本情報の設定で対応

具体的方法

1. [基本情報]－[科目情報]画面を開いて下さい
2. ①のように“定額法”として登録資産の科目枠を作成してください
科目名はご自由にお決めください
3. ②の操作でお好みの行に行挿入ができます。
また、科目名の並びについても変更できます（上へ移動、下へ移動）

No.	科目名	残存割合	限度割合	償却方法	償却資産税種類
1	建物	10 %	5 %	定額法	
2	建物附属設備	10 %	5 %	定率法	対象外
3	構築物	10 %	5 %	定率法	構築物
4	工具器具及び備品	10 %	5 %	定率法	工具器具備品
5	機械及び装置	10 %	5 %	定率法	機械装置
6	建物附属設備 (定額)	10 %	5 %	定額法	対象外
7	構築物 (定額)	10 %	5 %	定額法	構築物
8		0 %	0 %		

4. 新しく作成していただいた科目で平成 28 年 4 月以降取得資産をご登録ください。

科目名	番号	資産No.	枝番	資産名称	事業所	部門	取得年月日	増加事由	取得価額	償却方法
建物	1		0	附属設備			平28・5・1		1,000,000	定額法
建物附属設備										
構築物										
工具器具及び備品										
機械及び装置										
建物附属設備 (定額)										
構築物 (定額)										

・C法：資産入力での対応＋基本情報の設定で対応

具体的方法

入力は2段階の手順になります。

段階1. “定率法”科目で登録済みの資産について、
償却方法を個別入力画面で固定する

1-1. “定率法”で設定されている「既存の科目」を使います

有形固定資産		土地等	建設仮勘定	無形固定資産	繰延資産(均等)	繰延資産(一時)	一括償却資産
No.	科目名	残存割合	限度割合	償却方法	償却資産税種類		
1	建物	10%	5%	定額法			
2	建物付属設備	10%	5%	定率法	対象外		
3	構築物	10%	5%	定率法	構築物		
4	工具器具及び備品	10%	5%	定率法	工具器具備品		
5	機械及び装置	10%	5%	定率法	機械装置		
6		0%	0%				

1-2. “定率法”として登録済みの資産について、続く1-3. の設定を行います（償却方法が“旧定率法”“250%定率”“200%定率”）

設定 Ctrl+H	新規 Ctrl+M	個別入力 Ctrl+I	科目変更 Ctrl+K	並べ替え Ctrl+T	範囲指定 Ctrl+R	実施率 Ctrl+J	減損選択 Ctrl+G	月推移 (デバッグ)					
番号	資産No.	枝番	資産名称	事業所	部門	取得年月日	増加率	取得価額	償却方法	耐用年数	普		
	1	0	附属設備 (旧定率法)			平18・6・1		350,000	旧定率法	4			
	2	0	附属設備 2 (250%定率法)			平20・6・1		400,000	250%定率	4			
	3	0	附属設備 3 (250%定率法)			平21・6・1		200,000	250%定率	4			
	4	0	附属設備 3 (250%定率法)			平20・11・1		111,111	250%定率	4			
	5	0	附属設備 4 (200%定率法)			平24・6・1		222,222	200%定率	4			
	6	0	附属設備 4 (200%定率法)			平25・10・1		333,333	200%定率	4			

1-3. 個別入力画面を開きます

“定率法”の各資産の償却方法[入力]チェックボックスにチェックを入れます
償却方法は変えません。チェックを入れるだけです。

旧定率法の場合

資産 No.	- 0	事業所	0
資産名称	附属設備 (旧定率法)	部門	0
基本入力 償却・減少処理 圧縮記帳 減損等処理 月次償却 別表十六 償却資産税			
取得価額		償却限度額	
取得年月日	平 18・6・1	償却方法	<input checked="" type="checkbox"/> 入力 旧定率法
事業供用年月日	平 18・6・1	耐用年数	4年 短縮特例の適用 <input type="checkbox"/>
増加事由	数量 0	償却月数	12月
取得価額	350,000	償却率	0.438
帳簿価額		残存価額	<input type="checkbox"/> 入力 10% <input type="checkbox"/> 入力 35,000
	期首 期末	償却可能限度額	<input type="checkbox"/> 入力 5% <input type="checkbox"/> 入力 17,500
取得価額	350,000 350,000	普通償却限度額	43,800
圧縮額	0 0	償却増加償却	0.00 0
会計上取得価額	350,000 350,000	特別償却区分	<input type="checkbox"/> 剰余金処分
帳簿価額	100,000 56,200	償却償却限度額	0% 0
繰越償却超過額	0 0	償却実施額	
繰越償却不足額	0 0	当期償却実施額	100% 43,800
		経費区分	販管費
		当期償却超過額	0
		当期損金認容額	0

250%定率の場合

資産 No.	- 0	事業所	0
資産名称	附属設備3 (250%定率法)	部門	0
基本入力 償却・減少処理 圧縮記帳 減損等処理 月次償却 別表十六 償却資産税			
取得価額		償却限度額	
取得年月日	平 20・11・1	償却方法	<input checked="" type="checkbox"/> 入力 250%定率
事業供用年月日	平 20・11・1	耐用年数	4年 短縮特例の適用 <input type="checkbox"/>
増加事由	数量 0	償却月数	12月
取得価額	111,111	償却率	1.000 改定償却
帳簿価額		定率法償却率	0.625 調整前償却額 5,625
	期首 期末	保証率	0.05274 償却保証額 5,659
取得価額	111,111 111,111	普通償却限度額	8,999
圧縮額	0 0	償却増加償却	0.00 0
会計上取得価額	111,111 111,111	特別償却区分	<input type="checkbox"/> 剰余金処分
帳簿価額	9,000 1	償却償却限度額	0% 0
繰越償却超過額	0 0	償却実施額	
繰越償却不足額	0 0	当期償却実施額	100% 8,999
改定取得価額	10,000 10,000	経費区分	販管費
		当期償却超過額	0

200%定率の場合

新規 Ctrl+M	固定資産 Ctrl+I	移動処理 Ctrl+R	耐用年数 Ctrl+B	月推移 (デバッグ)
資産 No.	0	事業所	0	
資産名称	附属設備4 (200%定率法)	部門	0	
基本入力	償却・減少処理	圧縮記帳	減損等処理	月次償却
別表十六	償却資産税			
取得価額		償却限度額		
取得年月日	平 24・6・1	償却方法	<input checked="" type="checkbox"/> 入力 200%定率	
事業供用年月日	平 24・6・1	耐用年数	4年	短縮特例の適用 <input type="checkbox"/>
増加事由	数量 0	償却月数	12月	
取得価額	222,222	償却率	0.500	
帳簿価額		定率法償却率	0.500	調整前償却額
取得価額	222,222	普通	償却限度額	50,000
圧縮額	0	保証	率 0.12499	償却保証額
会計上取得価額	222,222	償却	増加償却	0.00
帳簿価額	100,000	特別	償却区分	<input type="checkbox"/> 剰余金処分
繰越償却超過額	0	償却	償却限度額	0%
繰越償却不足額	0	償却実施額		
		当期償却実施額	100%	50,000
		経費区分	販管費	
		当期償却超過額		0
		当期損金認容額		0
		当期切捨償却不足		0

上記の“定率法資産”（“旧定率法” “250%定率” “200%定率”）について、必ず、[入力]チェックボックスにチェックマークを入れて下さい。

チェックマークをお忘れになった資産は、この後の「段階2」の操作で「定率法」適用の資産であったものが、「定額法」資産に変更してしまいます。

段階2. 「科目情報」の償却方法を“定額法”へ変える

2-1. 再度、すべての“定率法資産”（“旧定率法”“250%定率”“200%定率”）の償却方法[入力]チェックボックスにチェックマークが入っているかご確認ください。

2-2. 「科目情報」画面で償却方法を“定額法”に変えます。

有形固定資産		土地等	建設仮勘定	無形固定資産	繰延資産(均等)	繰延資産(一時)	一括償
No.	科目名	残存割合	限度割合	償却方法	償却資産税種類		
1	建物	10 %	5 %	定額法			
2	建物付属設備	10 %	5 %	定率法	家外		
3	構築物	10 %	5 %	定率法	建物		
4	工具器具及び備品	10 %	5 %	定額法	器具備品		
5	機械及び装置	10 %	5 %	リース	装置		
6		0 %	0 %	任意償却 非償却 少額資産			

2-3. [資産入力]-[固定資産]画面で新規資産を作成した画面です。

何も入力がない場合、“旧定額法”になっていますが、日付を入れると“定額法”になります

番号	資産No.	枝番	資産名称	事業所	部門	取得年月日	増加事由	取得価額	償却方法
1		0	附属設備 (旧定率法)			平18・6・1		350,000	旧定率法
2		0	附属設備 (250%定率法)			平20・6・1		400,000	250%定率
3		0	附属設備2 (250%定率…)			平21・6・1		200,000	250%定率
4		0	附属設備3 (250%定率…)			平20・11・1		111,111	250%定率
5		0	附属設備4 (200%定率…)			平24・6・1		222,222	200%定率
6		0	附属設備4 (200%定率…)			平25・10・1		333,333	200%定率
7		0				平0・0・0		0	旧定額法

日付などの項目を入力したもの

科目名	番号	資産No.	枝番	資産名称	事業所	部門	取得年月日	増加事由	取得価額	償却方法
建物	1		0	附属設備 (旧定率法)			平18・6・1		350,000	旧定率法
建物付属設備	2		0	附属設備 (250%定率法)			平20・6・1		400,000	250%定率
構築物	3		0	附属設備2 (250%定率…)			平21・6・1		200,000	250%定率
工具器具及び備品	4		0	附属設備3 (250%定率…)			平20・11・1		111,111	250%定率
機械及び装置	5		0	附属設備4 (200%定率…)			平24・6・1		222,222	200%定率
	6		0	附属設備4 (200%定率…)			平25・10・1		333,333	200%定率
	7		0	附属設備10			平28・4・10		250,000	定額法

以上が操作方法となります。

お手数をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。